

学校だより あしたか 第9号

学校教育目標：かがやく瞳 ひびき合う心 ひろげる力 令和3年11月30日
重点目標：「いいね！」を見つけよう 富士市立吉永第二小学校
吉永第二小学校ホームページ <http://www2.city.fuji.shizuoka.jp/~p-yoshinaga2/>

吉永第二小って「いいね！」👍 12月編 🍱🍱🍱🍱🍱

温かいおでんや鍋料理の味にひと時の幸せを感じる季節となりました。

今年話題となったことばを選ぶ「ユーキャン新語・流行語大賞 2021」のノミネート語30が、2021年11月4日に発表され、「チキータ」「ゴン攻め/ビッタビタ」等、東京オリンピック・パラリンピック関連の盛り上がりやを反映した言葉がもっとも多くノミネートされ、まもなく受賞が発表されます。

ところで、そのノミネート30語の1つに「親ガチャ」という言葉があり、その意味をご存じでしょうか。

子どもの立場から「親は自分では選べない」「どういう境遇に生まれるかは全くの運任せ」と述べる表現であり、ソーシャルゲームにありがちなキャラクター入手方法(いわゆるガチャ)になぞらえた言い方だそうです。その逆に「子ガチャ」と言い方もあります。

しかし本来、強い絆で結ばれているはずの親子関係を「ガチャ」という無機質な表現にしてしまう今の世相に、深く考えさせられてしまいます。この言葉だけは流行語大賞には選ばれてほしくないと願っています。

さて、12月を迎えると世間の動きが忙しくなります。子どもたちも年末年始の楽しい恒例行事を前にして、気持ちが自然と高まり落ち着かない時期となります。状況や気持ちはよくわかりますが、こういうときこそ登下校中の交通事故には十分注意させなければいけません。

特に、桑崎・陽光台方面のグリーンベルトの歩き方はどうでしょうか。昨年度より集会等で安全指導を行った時期もありましたが、“喉元過ぎれば熱さ忘れる”のごとし、最近では危機感への意識が少々薄らいできたように感じられます。師走の慌ただしさにより、車のスピードも若干上がりがちです。通学路は、常に危険と隣り合わせにあることをもう一度自覚させ、ほどよい緊張感をもちながら歩かせたいと思います。

また、12月15日(水)から12月31日(金)までの17日間は、年末の交通安全県民運動期間に当たります。保護者の皆様におかれましても、安全への高い意識をもって、お子様の安全・安心への目配りと気配りをお願い申し上げます。



校長 望月 敏行

<お知らせ①>

2021 プロジェクトP(県道76号沿い壁画の塗り替え)が始動しました。

昨年度は、参加者を広く募集しましたが、今年度は塗り替え面積が少ないため、5、6年生の児童及び保護者のみの募集とし、総勢30人ほどで作業を行います。

作業日時は12月11日(土)8:30~11:30を予定しています。また、事前に6年生保護者の佐野様にお願ひし、高圧洗浄機を使って古いペンキをはがす作業をお願いしました。深く感謝申し上げます。最終的にどのような壁画になるか、仕上がりにご期待ください。

<お知らせ②>

1泊2日の修学旅行(6年生)が、無事終了しました。夏休み明け時期には、新型コロナ第5波の影響により目的地や日帰りの旅行への変更も考慮しなければいけない状況となりそうでしたが、10月以降の感染者数激減により、当初の予定どおり山梨方面への泊を伴う旅行が実施でき、忘れられない思い出を残すことができました。

<お願い>

11月の朝礼では、「読書の秋」を話題にし、ある程度の長さの文章を正確に読めるかを診断する簡単なリーディングスキルを行ってみました。その結果、子どもたちの読解力に、やや不安を感じました。もしかしたら、教科書に書かれている文章を理解できていない子もいるかもしれません。季節は冬に変わりますが、家庭での読書習慣は、季節に関係なく継続していただきたいと願っています。できれば新聞も読んでほしいと願っています。